

自昭和十九年七月一日
至昭和十九年七月三十一日

共數
表紙附錄共三十二枚

陣中日誌 第二號

獨立混成第十五聯隊第七中隊

七月一日
土曜晴
車中

一前日ノ命令ニ依リ中隊ハ。野東野東隊列シ。野東野東隊令

出發シ。美田沼澤ニ到着各係ノ指示ヲ受ク

ニ美田輸第一號

輸隊命令

一各隊ハ。輸隊指揮官ノ指示ヲ受ク

ニ各隊ハ。速ニ人員ヲ輸隊副官ニ報告ス

三乗車ニ関シテハ。輸隊指揮官ノ指示ヲ受ク

輸隊指揮官

美田大佐

下送法
口達筆記

三右命令ニ依リ中隊ハ。輸隊指揮官ノ指示ヲ受ク

四中隊ハ。係官ノ指示ヲ受ク

車ニ依リ出發ス

車中注意

一空籠ヲ受ケタル場合ハ。別ニ指示ス

七月二日
日曜
門司

2 途中一般ノ下車ヲ嚴禁ス
3 給與

朝食 品川

晝食 沼津

夕食 濱松

一 前日ニ引續キ汽車行ヲ以テ門司ニ向ク

ニ美作勅命第一號

聯隊命令

一 部隊ハ列車到着ト共ニ乗船ヲ準備セントス

ニ各隊ハ下車直後人員器材ヲ点檢シ異狀ノ有無ヲ報告ス

三 兵器資材ノ卸下ハ資材係盛岡中尉ヲシテ指示セシム

依テ各隊ハ下士官兵共ニ兵九ヲ貨物車輛前ニ差出シ盛岡中尉
ノ指示ヲ受ケテシム

四 同時余ハ第二軍輸ニ等車前ニ在リ

五 同時各隊ノ命令受領者ヲ差出シ

輸送指揮官

美田大佐

下達法ノ命令受領者ヲ集合口達筆記

三 中隊ハ全員異狀ナクテ門司港驛ニ下車ス

四 聯隊命令ニ依リ左記ノ諸兵器資材卸下ノタメ貨物車輛前
ニ差出シ盛岡中尉ノ指揮ヲ受ケシム

左記

陸軍伍長

津藤健吾

以下一名

五 美宿命第一號

聯隊命令

七月二日 門司

一聯隊ハ當分ノ間門司ニ宿營待期セントス

乗船期日ハ九日ト予想スルモ別命ス

ニ各隊ハ先發者及在郷軍人會員ノ誘導ニ依リ宿營

スベシ

三宿營勤務員

舎營日直

三子神中尉

各大隊ヨリ

巡察警校ヨリ

四隊急集合所門司國民學校トス

五空龍機ニ降シテハ各隊毎ニ宿營地附近ニ於テ極力疎開ス

ベシ

六各大隊及砲隊ハ明三日ヨリ。逐檢便者ヲ導テ提出スベシ

七余ハ東楠木町船井方ニ在リ

二。命令受領者ヲ本部ニ差出スベシ

獨混十五聯隊長

美田 茂 佐

下達法 命令受領者ヲ集メテ口達筆録

注意

一防護ニ關シテハ徹底的ニ秘密スルコトニ努ムヘシ

二各部隊離脱後ノ企圖出身地ニ關シテハ絕對ニ口外セサル

コト

三外出ハ公用ノ外嚴禁ス

四公用者ノ服裝ハ帶劍トス

五民本部ハ庄前町五丁目後藤眼科醫醫院トス

六右命令ニ依リ先發者及在郷軍人ノ指示ニ從ヒ左記ノ通り宿

營ス

左記

指揮班 坂本町

第一少隊 一坂町

第二少隊 玄明横町

第三少隊 出明町 玄東町

七津藤位長以下一。名兵器資材卸下係歸隊ニ各宿舍ニ
ツク

八美宿命第一號追加

八各大隊一。名(將校下士官兵)明三日。八三。輸送司令部ニ
出頭シ對潛監視法ノ教育ヲ受クヘシ

細部ニ関シテハ輸送司令部中村中尉ノ指示ヲ受クヘシ

九明三日。八。各隊より下士官一兵一。ヨニ號岸駐ニ差出シ

水野谷少尉ノ指示ヲ受ケシムヘシ

服裝ハ軍獨ノ服裝

一。警備隊教育隊發令ノ際ハ各隊下士官一兵一。ヲ彈藥倉庫

ニ差出シ柴田中尉ノ指示ヲ受ケシムヘシ

服裝ハ軍裝ニシテ背負銃雜糞水筒ヲ除ク

二本二日。四。七中隊ヨリ左ノ衛兵ヲ差出シ小野寺中尉ノ指示

ヲ受ケシムヘシ

編成左ノ如シ

司令官 井上 少將

一 二檢便ニ關シテ注意シ心得ヘシ

一 本部各中隊毎ニ一連番號ヲ附シタル人名簿ヲ作製ス

明昨日。八。迄部隊本部ニ差出スヘシ

二 檢便場所 二號岩壁屋上

三日時 二日到着者ノ先發者ヲ含ム

三 五日。一。ヨリ五日到着者。四日。一。後發者ハ別命ス

四 各隊ノ聯隊本部ヨリ連制順ニ軍人休息所ニ一。迄ニ先

任者ノ引率ヲ以テ集合シ松尾軍醫中尉ノ指示ヲ受クベ

シ

三 帶在間部隊號ヲ左ノ如ク呼稱ス

左

聯隊本部 ①隊 二大隊 ②隊 三大隊

③隊 聯隊砲中隊 ④隊 速射砲中隊 ⑤隊 工兵隊

⑥隊

一四美富命第一號第四項日直將校三三中尉 野
寺中尉ニ受領ス

一五資材監視ノタメ明三三中尉。五ヨリ下士官兵ハラ差出シ
水野谷ノ尉ノ指揮ヲ受ケル

一六五ヨリ將校一ヲ明三三中尉。聯隊本部ニ差出シ聯隊副
官ノ指示ヲ受ケル

一七聯隊本部ノ日直將校三三中尉ノ如ク
起床及日朝集會 〇六〇。

診斷(各大隊毎獨立中隊ハ聯隊本部) 〇九〇。
會報 一〇。

日夕集會 二〇〇。

一八宿營日直將校左ノ如ク服務スベシ

三日 松村中尉 四日 齋崎中尉

五日 鈴木中尉 六日 橋本中尉

七日 西村中尉 八日 田中中尉

日直對策ハ左ノ如ク

注意

一 軍機保護及防諜ニ関シテハ土地柄細心ノ注意ヲ拂ヒ部
外者トシテ通信電話等ハ嚴ニ注意スベシ

二 宿營間特別ノ事情アル者ハ外一切面會目ヲ禁ニス

三 宿營ニ於テハ時局初軍人ノ嗜ヲ持シ威信ヲ失墜セザルト

共ニ左記心得ヲ徹セシムルコト

左記

ハ兵站部配給物資以外ハ入次員困難ナル現況ナルハ舎主ニ
對シ主會ヲ要致セザルコト

七月三日

- (四) 寢具、家具等ヲ汚損セザルコト
 - (イ) 火災予防ニ万全ノ注意ヲ拂フコト
 - (ニ) 節電ニ協カヌルコト
 - (ホ) 被服、洗濯修理ノ旨ヲ行フコト
 - (ハ) 各舎主ヨリ依頼ナル配給品ハ協カシ運搬スルコト
 - (ト) 其、他ノ資不足ノ柄、宿舎ニ迷惑ヲ與ヘザルコト
 - 十 宿營間編上觀其、他官給被服ニ盜難防止ニ細心ノ注意ヲ拂フコト
 - 5 隊伍ヲナス者ハ引率ヲ嚴正確實ニシ整々タル部隊行動ヲナスコト
 - 6 外出時ハ服裝態度ヲ嚴正ナリシムルコト
- 九聯隊命令ニ依リ、正ヨリ巡察將校等下石少尉部隊衛兵トシテ二四〇〇名、松崎軍曹以下二二名、服裝整齊スルコト
- 一中隊ハ門司ニ在リテ葉松ヲ待期ス

月曜時
門司

- 二八。佐々木伍長以下二名ヲニ號岩壁ニ差出し水野谷少尉ノ指示ヲ受ケシム
- 三〇八三。山田少尉以下三名輸送司令部ニ至ラシメ對潛監視法ノ教育ヲ受ケシム
- 四 獨混一五作命第三號
七月三日
聯隊本部
- 聯隊命令
- 一 聯隊ハ現態ニ對シテ乘船ヲ準備スルコト共ニ對潛監視教育遭難時ノ動作ヲ教育訓練シシ之ヲ徹底ヲ期セントス
- 二 各隊ハ本三日兵器資材ニ對スル海没防止材料取付作業ヲ會員施シ本夕(四ハ明夕)迄ニ完成スルシ遭難時ニ於テ個人裝備、携帶兵器及器具小銃實包各人ニ發食糧二日分水筒、銃帽ヲス
- 三 各隊ハ明日以降對潛監視遭難時動作ヲ綿密ニ計畫會員施シ之ヲ徹底ヲ期スルコト

四 經理兵器衛生業務分担任發者ハ前任者ヲ續行シ成可速
 二 諸物品ノ取得ニ努ムヘシ
 五 人員及材料搭載係ハ船船司令官ト連絡ヲ密ニシ人員材料
 ヲ計畫準備スヘシ
 六 待命間ノ各勤務ハ別表ニ依リ服務スベシ(軍隊ノ衛兵ニ日)
 七 美作命第一號追加命令第八項中各大隊ニ各トアル各隊
 將校一下士官ニト變更ス
 八 余ハ以前楠木町駒井方ニ在リ毎日定時命令受領者ヲ差
 出スヘシ

聯隊長

美田大佐

五 中隊ハ勤務者以外全員畑曹長ノ引率ヲ以テニニニ號岸壁
 屋上ニ至リ檢便ヲ實施ス
 六 獨混日命第七號

陸軍中尉

加藤留藏

本口第二次輸送指揮官ト連絡メ小郡停車場ニ出張ヲ
 命ス(即日歸隊)
 七 右命令ニ依リ加藤中尉小郡ニ出張ス
 八 羽志野ニ殘留セシ千葉(清)兵長以下ニ名一六。中隊ニ遣及
 ス
 九 獨混一五依命第三號

聯隊命令

七月三日
門司

一 聯隊ハ主カヲ以テ本夜門司發宮崎縣ニ轉進ヲ命セラレ
 二 各隊(後續部隊ヲ含ム)ハ別表ノ如ク部隊ヲ編成スヘシ
 三 聯隊ハ一八二ニ。進ニ第三號岩壁ホームニ集合人員搭載係
 指示ニ依リ搭載スヘシ
 四 一八四日。進ニ第三號ホームニ集合シ。一五。發列車ニ依リ
 乘車スヘシ
 五 一八在門司部隊ハ。進ニ第三號岸壁ニ到着シ三長ノ指揮下

ニ入ルヘシ

六 第二次輸送指揮官ハ西村大尉トス

歩兵砲速射砲工兵各中隊ハ門司到着後聯隊長指揮ニ入

リ人員塔載機材指示ヲ受ケニ一。發ノ列車ニ塔乗スベシ

火砲彈藥ハ全部携行ス

七 個人仕度備ハ外通信器材隊醫器械全部ヲ防護糧器糧秣

一 過間分携行スベシ

八 後發主力ハ三子神中尉ノ指揮ヲ受ケ現任務ヲ整理シタル後船

船ヲ以テ本隊ニ連及スヘシ

九 三子神中尉ノ残置部隊ハ荷物ヲ載置シ船舶司令部ニ連

絡シテ速ニ本隊ニ連及スヘシ

一〇 盛岡中尉ハ後續部隊ノ荷物ヲ塔載ヲナスヘシ

二 余ハ三子神中尉ヲ號岸壁ニ至リ第一次列車ニ依リ出發ス

聯隊長 美田大佐

大隊命令

一 聯隊命令ニ依リ先任者ノ引率ヲ以テ第二號岸壁ホムニ〇一

。到着シ三隊長ノ指揮下ニ入ルヘシ

二 畑混休命第三項ニ基キ各中隊(三哨ヲ除ク)ハ下士官一兵

三ニ名三本部下士官一兵一ノ名ヲ殘置シ三子神中尉ノ指揮下ニ

入リシムヘシ

大隊長 西村大尉

注意

一 人員ヲ良ク掌握シ器材ノ紛失ナキ様注意スルヘシ

二 海没器材ハ殘置部隊ニテ申受ケル要最ノ限度ニ相包

サシ度

二 聯隊命令ニ依リ櫻井伍長以下三三名ヲ殘置シ一八三三三子神中

尉ノ指揮下ニ入リシム

三 聯隊命令ニ依リ佐十藤軍曹先發トシテ出發ス

七月四日
火曜時
官時
日曜日



三 中隊ハ(先發者及後發者ヲ除ク)全員二三三。整列シ宿營地
出發集合地ナルニ號岸壁ホームニ向フ

一 中隊ハ、〇一〇〇ニ號岸壁ホームニ至リ、長指揮ニ以リ、
列車ニ依リ〇〇ニ向フ

ニ 加藤中尉第二次輸送人員搭載係ヲ命セラル
三〇九。大分驛ニ於テ敬言或敬言報發セル依テ輸送指揮官命
ヘテ受ク

輸送指揮官命令

一本四日〇九。敬言或敬言報發令ニ依テ本部各隊ハ左記ノ如
ク心得ヘシ

一 第七中隊ハ對空射撃手部隊トス敵ノ空襲ニ際シテ小道ニ
交戦シ得ル如ク準備シアルヘシ

ニ 各隊ハ空襲時ニ於テハ、線路右側ニ且ハ左側ニ於テ極
カ地形ヲ利用シ且ツ充分ナル疎開ヲナスベシ

第二次輸送指揮官 西村大尉

四 中隊ハ右命令ニ依リ彈藥ヲ受領シ對空射撃手部隊トシテ待期
セルモ異狀ナシ

五 第二次輸送指揮官命令 七月四日 中 一四一。

一 軍用列車三編代ニ到着セハ部隊ハ下車ス
(三編代下車一五四ニ予定ス)

ニ 本部各隊ハ一五二。迄ニ車準備ヲ完了スヘシ
三 下車ハ喇叭一聲ノ號音ニ依リ官員施シ下車ハ列車側方約三歩
釋出入口方向ニ向ヒ各隊四列縱隊トス尚下車ト共ニ由共狀ノ有
無ヲ各隊長輸送指揮官ニ報告スヘシ

四 材料係渡邊中尉大田中尉盛岡中尉トシ人員係ハ加藤中
尉トス

五 資材運搬部下、タメ各一般中隊ヨリ一小隊宛(先任分隊長ノ
指揮スル一小隊)各階下士官以下五名ヲ下車後渡邊中尉ノ

モ十二差出シ指揮ヲ受ケシムルハシ

六一五四ニテ車後直ニ各隊ハ命令受領者ヲ差出スル

第二次輸送指揮官 西村 大尉

六一五四ニテ三級代響ニ着テ車命令ニ依リ全員事散ナクニ級代響

ニ下車シ驛前ニ於テ休憩ス

七櫻田軍曹以下第一小隊全員次其村車下運搬ノ事ヲ遂行中尉

ノモトニ差出シ其指揮ヲ受ケシム

八三級代響前ニ於テ左記彈藥ヲ受領シ各人ニ配當ス

左記

小銃彈 九七二發

八九式榴彈 八一發

黃榴 四發

後發者門司受領

小銃彈 九六發

九左記宿營命令ヲ受ク

一六五
三級代響前

左記

一大隊ハ當分ノ間日置山岩脇今別府附近ニ宿營シ爾後ノ行

動ヲ準備セシトス

二本部及各隊ハ左記場所ニ於テ宿營スル

左記

大隊本部 新町附近 哨主カ 日置今別府一部新町

七中隊 日置山岩脇一部今別府

八中隊 日置六段田一部山岩脇

九中隊 時中一部六段田

細部ハ各隊落區長ト協定シ宿營スル

三日直將校巡察將校左ノ如ク服務スル

左

四日 救生中尉 五日 滋谷中尉

六日 田中中尉 七日 工藤中尉

巡察將校ハ大隊本部ニ於テ適宜派遣ス

四 敬言我ハ各隊毎ノ直接敬言戒ニ止ム

空襲ヲ考慮シ門及中隊ハ小隊ハ對空射撃ヲ指定

シ置クベシ

五 大隊、敬言急集合所ヲ本部前本道ニトス

六 聯隊ハ佐渡原町ニ宿營スルベシ

七 本部各隊ハ宿營終了セハ速ニ配宿ノ情况(全主關係ヲ

明記セシモノ)ヲ大隊長ニ報告スヘシ

八 醫務室ハ大隊長宿舎トス

九 其、他細部ハ別ニ指示ス

大隊長

西村 大尉

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記

一。右命令ニ基キ旧置岩勝ニ全員異狀ナク宿營名ニツク

二 門司ヨリ先發セシ佐藤軍曹中隊ニ復歸ス

三 衛兵上番ヲ左記ノ如ク定メラル

左 記

五日 9 六日 7 七日 8 八日 9 九日 7

交代ハ正午トス

日課時限左ノ如シ

左

會報

診断

一 三 中隊ハ本宿營間各宿舎毎ノ直接敬言我ヲ以テ次期作戰

準備ヲナス

一 中隊ハ日置岩勝ニ在リテ次期作戰準備ヲナス

二 一。ヨリ 三 醫務室ニ於テ子防接種ヲ實施ス(九九名)

七月五日
木曜晴

富田村
日置山石場



三午後ヨリ兵器被服ノ手入後休養等ノ事
四本日勤務

日直士官 陸軍中尉 加藤 留藏
日直下士官 陸軍軍曹 櫻田 敬喜

五大隊命令

六月五日
手紙式釋前

一 明六日ヨリ。各中隊下士官一兵二。(但シ所ハ一)ヲ
彈藥積込ノ後投トシテ本部並河木軍曹ノ指示ヲ受ケ

一中隊ハ日置山石場ニ在リテ次期作戰準備ヲナス

二。ヨリ中隊全員ニ對シ宿營間並ニ次期作戰ニ關シ
中隊長ヨリ諸注意アリテ一。解散ス

三本日勤務

日直士官 陸軍小尉 山田 誠
日直下士官 陸軍軍曹 千坂 泰治



七月六日
木曜
曇後小雨
日置山石場

一 四本日手榴彈一。發受領シ將校以下ニ配當ス

五大隊命令

一 大隊ノ聯隊ヨリ示サレタル空輸計畫ニ基キ本七月七日朝ヨリ

七月十日ニ亘ル間遂次ヨリ二高ニ前進ス

二 空輸ノ細部ニ關シキハ本部各中隊毎ニ關係空輸部

隊ト密ニ連絡ノ上空輸ヲ負ルヌヘシ

三 爾今本合營地区ニ於ケル警式各中(小)隊毎ノ直接警戒

ニ止ム

四 本日分配セシ手榴彈信號彈等ハ本部各中隊毎ニ予メ計畫

セル處ニ基キ將校以下ニ配當スルモノトス

五 余ハ本七日午後飛行場發現地ニ配當スルモノトス

大隊長 西村 大尉

一中隊ハ日置山石場ニ在リテ次期作戰準備ヲナス

二中隊長以下各小隊ハ。發空輸ニ關シ飛行部隊ト連絡ノ

七月七日
金曜曇

日置岩脇



夕メ飛行場ニ至リ連絡ノエ夕刻歸隊ス
三本日中隊、約半数ハ部落附近、田植ヲ手傳フ
四本日、勤務

日直士官 陸軍少尉 藤石重郎
日直下士官 陸軍少曹 内藤久雄

七月八日
土曜晴



一。一三。空襲報警報發令セリ依テ中隊ハ全員既ニ指示セル
處ニ從ヒ第一小隊ハ對空射撃手部隊トシ配備シ至嚴ナル敬言
戒ヲナス

二宿至嚴ナル敬言戒ヲ續行中。四。空襲報警報解除敬言戒管
制ニリタルヲ以テ配備ヲ撤收シ解散ス

三第二小隊ハ。八。宿營地出發飛行場ニ至リタルモ都合ニ依
リ飛行セス佐渡原町ニ宿營ス
●中隊ハ全員(殘置部隊ヲ除ク)自動貨車ニ依リ宿營地出發
飛行場ニ集合シ空襲部隊ト連絡ノエ仕地ニ向テ(中隊長以下

七月九日
日曜晴

伊江島



一四名)
二本日高橋曹長以下五名ハ都合ニ依リ飛行セス佐渡原町ニ宿
營ス

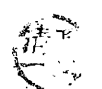
三中隊主力ハ途中無事伊江島飛行場ニ着陸シ伊江島國民學
校ニ集結同校ニ於テ至嚴ナル敬言戒ノモトニ宿營ス

四一九。到着セル全員ニ對シ中隊長訓辭ヲ行フ
一中隊ハ伊江島國民學校ニ在リ至嚴ナル敬言戒ノモトニ大隊主
カノ來着ヲ待ツ

二本日日中隊ハ兵器被服ヲ手入後休養ス
三本日、勤務

日直士官 陸軍中尉 加藤留藏
日直下士官 陸軍軍曹 長 弘
日直上等兵 陸軍兵長 畑島庄藏
部隊衛兵 陸軍伍長 津藤健 五〇以下九名

七月十日
月曜晴
伊江島



七月十一日
火曜晴
伊江島

一中隊ハ伊江島島内にテ諸種警備ヲ勤メテ
二中隊ハ本日學校附近ニ待機壕ヲ構築ス
三大隊主ク伊江島ニ到着後テ在記命令ヲ受ク

伊敬言西休命

伊江島國民學校

一大隊ハ伊江島國民學校附近ニ位置シ至嚴ナル警備ヲモ
二明日ハ伊江島島内各地ヲ偵察スルニ着手セントス

三小隊ハ對空射撃手部隊トス

四戰備度ハ之ヲ
至嚴ナル警備ヲ委勢ヲトリ全員ノ上ニハ休息又ハ他ノ業務
能カク出立得

五國民學校内ニ於テ各部隊ヲ配宿ニ關シテハ大隊副官ヨリシ

指示セシム

伊江島地区警備隊長 西村 大尉

四伊敬言西休命第二號

伊江島國民學校

警備隊命令

一 狀況ハ相當急迫セルモノ如シ

二 大隊ハ即時陣地構築ニ着手セントス

三 小隊ハ對空射撃手用掩体ヲ構築スルニ着手セヨリ取敢ハス實

細部ハ現地ニ於テ指示ス

四 敵機來襲ハ際ハ直ニ應戰シ得ル如ク各中隊ハ小隊對テ

射撃手部隊ヲ準備スベシ

五 各中隊ハ明日陣地偵察並ニ工事ニ着手スベシ細部

現地ニ於テ指示ス

六 余ハ十二日本島西南方面地形偵察シ併セテ島内陣地

某ヲ指導ス。伊江島地区警備隊長 西村大樹

五本日勤務

日直士官

陸軍少尉

山田誠

日直下士官

陸軍少曹

佐藤宗三

日直上等兵

陸軍上等兵

河部榮之助

六。一七。ヨリ警備隊將兵ニ對シ各上同ノ訓辭ヲ傳達併セテ大

隊長左記訓辭アリタリ

一。至嚴ナル軍紀ノ確立

二。徹底セル工事ノ實現

三。強兵タシ

四。保衛衛生

五。防謀

六。創意工夫ノ實施

七月十二日

一中隊ハ伊江島ニ在リテ警備ヲ行ヒ、教訓或勤務ニ任ス

水曜晴
伊江島

二。四。非常召集(血演習)アリタリ

依テ中隊ハ直チニ全前ニ整列約十分ニテ整列ヲ完了シ服裝

検査、後隊長ヨリ右ニ関シ諸注意アリテ。五。終了解散ス

三中隊ハ全カヲ以テ學科附近待避壕構築ヲ實施ス

四。五。三。將校全員陣地復察ノタメ現地ニ至ル

依テ教訓或配備要圖附圖第一ノ如シ

五本日勤務

日直士官

陸軍少尉

栗石重郎

日直下士官

陸軍伍長

河部忠雄

日直上等兵

陸軍上等兵

山内鉄夫

一中隊ハ伊江島ニ在リテ諸種ノ警備或勤務ニ任ス

二中隊ハ本日ヨリ全カヲ以テ陣地構築作業ヲ實現ス

三本日陣地構築ニ勤務奉仕隊三ニ名ノ協カヲ受ケタリ

四。中隊配備区域別紙附表第一ノ如シ

七月十三日
木曜晴
伊江島

五本日勤務

日直士官 陸軍少尉 重石 重郎

日直下士官 陸軍兵長 山口 住雄

日直上等兵 陸軍兵長 杉内 安雄

部隊衛兵 陸軍少尉 小泉 大志

六伊勢言西日命第一號

一 當分一般外出ヲ禁ス

止ムヲ得ナル公用ノ夕メノ外出ハ各隊長ノ許可ヲ要ス

二 日直巡察總校左ノ通り服務スヘシ

一三日 日直 山田 少尉

二四日 巡察 藤澤 昇

一四日 日直 加藤 中尉

一八日 巡察 重石 少尉

七中隊命令

陸軍兵長 川島 庄藏

陸軍上等兵 藤澤 昇

陸軍一等兵 本郷 信治

右ノ者指揮班ニ編成替ヲ命ス依テ本夕食ヨリ指揮班ニ於テ起居ヲナスヘシ

一中隊ハ伊江島ニ在リテ諸種ノ警備勤務ヲ任ス

二中隊ハ全カヲ以テ陣地構築作業ヲ實施ス

三 前日同様勤勞奉江隊三。各ノ協カアリタリ

四 伊勢言西日命第一號

一 各一般中隊ハ左記ノ如ク巡察ヲ派遣シ報告スヘシ
異狀アル際ハ速ニ所屬中隊及敬言備隊長ニ報告スヘシ

左記

一 派遣地域ハ既ニ各隊長ニ示セル地域トス

七月十四日
金曜晴
伊江島



2 派遣人員 長以下三名 三組

①一組(前半夜)二名。以降)

一組(後半夜)二名。以降)ニ派遣

4 裝束備 小銃三 手榴彈 各人ニ發

ニ合言 葉ヲ左、如ク定ム

1 必勝 信念

2 梅公 精神

五 敬言 滿隊長陣地偵察並ニ防禦指導ヲ夕メニ泊三日ノ予定ヲ

以テ今 歸仁村及本部村ニ出張ス

依テ左記ノ者 隨行ヲ命ゼラル

左記

陸軍中尉

高橋清一

陸軍少尉

栗石重郎

陸軍二等兵

千葉昌利

六 本日ノ勤務

日直士官

陸軍少尉

山田誠

日直下士官

陸軍伍長

岡明德

日直上等兵

陸軍上等兵

高橋文

巡察

陸軍伍長

佐々木榮一以下三名

一中隊ハ伊江島ニ在リテ 諸種ノ敬言或勤務ニ任ス

二中隊ハ全カヲ以テハ 勤務奉仕隊ニ名協カテリ、午滿中午後

ハ 勤務奉仕隊ノミ 指導者トシテ各小隊ヨリ一名宛 宛置シ陣

地構築米作業ヲ實施ス

三 午後ハ 勤務者以外全員 醫務室ニ於テ予防接種ヲ實施後

休養ス

四 本日ノ勤務

日直士官

陸軍中尉

加藤留藏

日直下士官

陸軍伍長

佐藤秀雄

七月十五日
土曜晴
伊江島



七月十六日
日曜日
伊江島

日直上等兵 陸軍上等兵 齋藤憲徳
巡 察 陸軍々曹 内藤久雄
以下三名
一中隊ハ伊江島ニ在リテ諸種ノ警戒勤務ヲ執行ス
二中隊ハ全カラ以テ終日陣地構築作業ヲ實施ス
主本日ノ勤務

日直士官 陸軍少尉 山田 中尉
日直士官 陸軍々曹 高坂健一
日直上等兵 陸軍兵長 本須野芳男
巡 察 陸軍々曹 櫻田敬喜
部隊衛兵 陸軍々曹 (以下三名)
佐藤宗吉(以下九名)

伊江島守備隊第四號

一 勤勞奉仕隊ヨリキ 隊員二九名本部IA隊ニ五名宛配

當又 本部及各隊ハ兵員及前項ノ人員ヲ以テ主トシテ防空壕用横

穴ノ構築ヲナスヘシ
三 伊江城山西側ハ東北側ハ南側地ハ大隊本部步兵砲トス

爲ニ校周圍ノ横穴ハ副官ノ指示ニ基キ實施スヘシ
各中隊ハ速ニ各道路村落ノ前端ニ對シ閉塞スルノ處置

材料ヲ準備シ直ニ實施シ得ル如ク準備シ置クヘシ
尚之ト併用シテ手榴彈ヲ以テ對戰車攻撃ヲ實施シ得ル如

ク訓練シアルヘシ
IA中隊ハ一部ヲ城山西南側ニ配置スル如ク明十七日陣地偵

察スヘシ
五 又隊ハ直ニ自己担任区域内ノ墓地ヲ利用シ得ル如ク消毒

ヲ速ニ實施スヘシ
二中隊ハ伊江島ニ在リテ諸種ノ警戒勤務ニ任ズ

七月十七日

月曜晴
伊江島



二本日第一小隊八主トシテ横穴第一小隊第三小隊八基地ノ消毒
作業ヲ實施ス

三本日勤務奉仕隊一〇名ノ協力アリテ陣地構築作業ヲ實施
セシム

四本日ノ勤務

日直士官 陸軍中尉 加藤 留藏
巡察 陸軍伍長 阿部 忠雄

日直上等兵 陸軍兵長 新澤 隆治

巡察 陸軍曹 鎌田 幸七

陸軍中尉 高橋 清一

以下三名 未詳

右本部ニ出張ノ處歸隊ス

一中隊ハ伊江島ニ在リテ諸種 敬言式勤務ニ任ズ

二中隊ハ全カ及勤務ニ任ズ(國民學校児童)ノ協力ヲ得テ終日陣

伊江島



地構築作業ヲ實施ス

三一九。ヨリ中隊長精神訓話(軍紀具統統)ヲ以テ夕ノ終

四本日ノ勤務

日直士官 陸軍少尉 栗山 重郎

日直下士官 陸軍少曹 千坂 泰治

日直上等兵 陸軍兵長 相澤 武男

巡察 陸軍兵長 千葉 清人

五敬言備隊命令

一來ル一九二。國民學校生從三〇名ノ奉仕作業ヲ受ク依テ左

記ノ如ク定ム

左記

一九日當校周圍横穴陣地ノ補強ニ全員使用ス

(尾崎副官指導)

二〇日二日ノ兩日半數ハ獨速ニ配屬シテ十八日ニ配屬關

係隊長ニ於テ指導ス

二十九日ヨリ三十一日迄三日間飛行場大隊員約四百名ツノ陣

地構築作業ニ協力アリ依テ左記、如ク配當ス

主トシテ主要火砲彈藥置場ノ掩蔽部(横穴)ヲ構築ス

ヘシ

左記

一九日 789 六〇名 聯隊砲 一二五名

二〇日及三十一日 一般中隊約三〇名 聯隊砲 三〇名

速射砲 四〇名

依テ89 Mg ハ下士官一兵一ツ。四手。本部前ニ聯隊法速

射砲(九日欠)大隊本部ハ同様下士官一兵一ツ。六三。迄ニ

役場前ニ差出し大隊本部該隊軍曹ヲ指示ヲ受ケ受領

又ヘシ
三十七月十九日一五。三。一回敬言備演習ヲ官員施ス

敬言備大隊ノミ(飛行場大隊ヲ除ク)官員施、際關係中隊

長ニ指示ス

大隊長

西村 大尉

一中隊ハ伊江島ニ在リテ諸種敬言備勤務ニ従ス

二中隊ハ全カヲ以テ終日陣地構築作業ヲ官員施ス

三本日飛行大隊ヨリ五六名國民學校児童ニ六名ノ協カヲ得

主トシテ彈藥集積所及横穴構築作業ニ従事セシム

四昨日命令ニ依リ一五。ヨリ第一回敬言備演習ヲ官員施ス

五敬言備隊命令

二十一日 日直將校 加藤 中尉

二十一日 巡察將校 山田 少尉

六本日勤務

日直士官 陸軍中尉 加藤 留藏

日直下士官 陸軍伍長 佐藤 秀雄

七月十九日
水曜 晴
伊江島

